

令和7年12月
第7回清水町議会定例会一般質問事項

質問者		質問事項
議席	氏名	
9	佐藤幸一	<p>1 帯状疱疹ワクチンの任意接種者に対する助成について</p> <p>本件は、去る9月定例会で質問したところ、任意接種者に対する町独自の助成は難しいとのことであったが、その答弁に対し町民から落胆の声が多く寄せられている。</p> <p>そこで新年度において、町民の命を守るために一定の年齢以上の任意接種者に対する助成措置を講じていただきたいと思うが、再度町長の考え方を伺う。</p>

質 問 者 議 席	質 問 事 項 氏 名	質 問 事 項
		質 問 事 項
1	山 本 奈 央	<p>1 町名変更にかかる取り組みについて</p> <p>清水町において、町名変更に係る取り組みが町長の政策として進められていると承知している。最終的な判断は住民投票により行う方針と理解しているが、現時点では、取り組みの目的や背景、検討の経過について住民への情報提供が十分ではないとの声が寄せられている。町名変更は住民生活に大きく関わる重要なテーマであり、住民が判断するためには、丁寧で分かりやすい説明と十分な情報公開が不可欠であると考える。</p> <p>そこで、町名変更に取り組む目的・背景・趣旨、これまでの情報公開および住民への説明の状況、今後の計画と住民投票に向けた説明体制について、町長の考えを伺う。</p>

質問者		質問事項
議席	氏名	
6	鈴木孝寿	<p>1 十勝清水町への町名変更における考え方について</p> <p>清水町の認知度の調査結果が出て、本町は認知度が低く埋没していることが明確に記された結果となった。これを踏まえ、人口減少時代における故郷「清水町」をどのように持続可能な地域にしていくのかが、明確な課題になったと思われる。</p> <p>変更する、しないについては、今後町民の判断となっていくところだが、判断材料については町民にその情報の詳細を提示していくことが重要と考える。その上で調査結果が出た中で、以下を含め町長の現状の考え方を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 十勝の名称を使うことに管内自治体の反応について (2) 清水町内の各事業者及び団体の反応について (3) 現在寄せられている意見の内容について (4) 町民生活の中で現在考えられる問題点について (5) 特に規模の大きい企業における問題点について (6) 十勝清水町という名に変更した場合の最大のメリットについて <p>2 物価高への対応について</p> <p>本年、物価高対策に対して水道料金の基本料の免除を行った。これにより町民から高い評価が聞こえる。しかしながら価格の上昇は今もまだ続き、一部ガソリン等の価格の値下げが始まったものの、一般的な生活は厳しくなっている。財政的に国の動向次第というはあるが、現状としてどのような対応をしていくか町長の考え方を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 水道料金の基本料の減免を再度行う考えはあるか。 (2) 米券が発行される可能性もあるが、その使用方法は米券に特化せず自治体の対応に任される方向性もあると聞くが、現状どのように捉えているか。

質問者 議席	質問事項 氏名
	<p>3 職員採用と企業との連携の考え方について</p> <p>市町村職員の新規採用にあっては、全体的に応募が少なく人材確保に苦慮している市町村が多くなってきていると聞く。本町においても保育士・技術職を中心に入材確保に苦労している。このような中、町政を進めるために、計画的な職員採用を進めることはもとより、企業との連携を強化し業務の推進も考える必要がある。将来像を含め町長の考えを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 育児休業者や病休者による欠員の対応について (2) 保育士の確保・技術職の後継者づくりの考え方について (3) DXの推進と民間との連携による業務の効率化への考え方について (4) ふるさと納税や物産振興の民間との連携について